

## 第2回ESDティーチャーオンライン交流・研修会概要報告

奈良教育大学 中澤 静男

◇開催日時 2020年8月24日(月)19時～21時

◇方法 ZOOMを用いたオンライン

◇参加者

### 【現職教員等】

河野、梶原、後藤田、重松、新宮、大島、川崎、竹田、中澤敦子、島、柚木、圓山、三木、石田、谷垣、鈴木(五井平和財団)、片山(長浜ユネスコ協会)、石田

【奈良教育大学】中澤、大西、太田、吉田、杉山

計23名

◇内容

1. 仕掛け学・行動を促す 奈良教育大学附属中学校 吉田先生

(1) 行動経済学・ナッジ：行動の変容を促すしかけ

「思わすしたくなる」「つついしたくなる」仕掛けを考えよう

線をかくと並んでもらえる、ドラゴンボールのコミックの背表紙が並べると絵になっている、男子トイレの的、コロナ禍のなかでのゴールデンウィーク「オンライン帰省」のすすめ

よい仕掛け：仕掛ける側・仕掛けられる側、双方が笑顔になるもの

悪い仕掛け：「だまされた」「二度とひっかからないぞ」と不快な気持ちにさせるもの

(2) 例題

①自転車が盗まれないようにするには

サドルに鳥の糞のシールを貼る サドルに娘さんからのメッセージを貼る

「みてるぞ」の表示 監視カメラの表示

②健康増進のために会談を利用させる仕掛け

階段に消費エネルギーを表示する、大阪環状線総選挙(福島派vs天満派)

(3) 生徒会で取り組みたいこと

・教室を移動した後、電灯やエアコンがつけっぱなしになっている。それをなくしたい。

消すことで楽しくなるアイテム・アンパンマンの鼻など

生徒自身に考えてもらう ← 参加・参画 ESD的取り組み

(4) 行動の変容につながる生徒会活動を

・ESDは価値観と行動の変革を促す教育だが、正論だけではなかなか人は動かない。正論が効かないときに「仕掛け」を活用する。(別のアプローチで行動を誘引する：アプローチの多様性)

・仕掛けによって、意図した行動の変容ではないが、結果的に問題解決にいたる。

・インパクトはいずれは薄れる。「意識して行動すること」自体に意味があるのでは。

自分から動くようになるのはソマティック・マーカー装置の育成

2. 小学校3年生社会科「地域にみられる生産の仕事-佃農園のいちご作り」

大牟田市立吉野小学校 島先生

(1) 導入

郡山西小学校に近くの農産物の生産：米作りとイチゴづくり

佃農園は品評会で金賞をとり続けているという新聞記事

おいしいイチゴを育てる秘密を探ろう

学習課題：どのようにしておいしいイチゴを作っているのだろう

(2) 仮説の作成・調査活動

児童が着目したポイント：道具、作業、工夫に特別なものがあるのだろう

調べ方を相談 副読本からの読み取り それでもわからないことを抽出 → 見学に行こう

佃農園の見学（11月）

ビニールハウスの中は暑い

直売場の前を通るが副読本に共同出荷場より出荷していると書かれているので気づかない

さらに知りたいことが見つかる

大和郡山市内の個人の直売所は佃農園だけ

(3) 話し合い

県知事賞まで取っているのにスーパーなどに出荷しないのが不思議 もっと儲かるのに

プロとしてのプライド わざわざ買いに来てくれる農家をめざしている

自分のところのイチゴをお客さんに評価してもらう

→ 生産者はみんなプロとしてのプライドがある

(4) 行動化

オリジナルカードづくりに取り組む

児童一人一人が佃農園の取組から感じたこと学んだことをカードにした

(5) 成果と課題

①成果

- ・地域にみられる生産の仕事を地域の人々の生活を結び付けて捉えることができた。
- ・地域にみられる生産の仕事を応援する具体的な行動ができた
- ・直売所に保護者を伴って出向く子が増えた

②課題

- ・佃農園だけでよいのか
- ・評価 実践に即したペーパーテストをつくったが、内容はどのようにすべきだったのか
- ・E S Dの視点からの再構成（意味づけと修正案）

(6) グループDい巢カッションより

①評価について ペーパーテストである必要は？

3クラスあるので「テストどうすんの？」「作ってやってください」

学んだことの定着度を測るのであればペーパーテストも可

思考力・判断力などはカードから抽出した

②価値観の変容がわるようなものがあって評価できればよかったのでは

佃農園は、どちらかと言えば県外に人に知られている

農産物に対する態度の変容 生産者の思いが込められているということ

地域の生産者を応援する言動

③生産者・売り手・消費者をつなげるとよいのでは 地球環境にとっても含めて

④人物・実物に出会っているのはいい：実感を伴った学びになっている

⑤直売所へのこだわり、愛情 自分事化できていたのでは

⑥カードづくりに子どもの変容があらわれている

⑦事実と生産者とのやり取りで理解を深めているのがE S D的

- ⑧子どもたちにとっての引っ掛かり・そこでも仕掛け
- ⑨事例は佃農園だけ 佃さんの着地点があったのでよかったのでは
- ⑩評価テストで他に転移できる問いを含まれていればよいのでは  
社会科ならば気候や交通、消費地との関りを押さえる必要がある  
生産者のこだわりの普遍性に気づかせる問いかけ

次回は10月12日(月)19時からです。

検討してもらいたい授業構想など、どんどんお寄せください。